

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社 AOKI ホールディングス（証券コード:8214）

【見直し変更】

長期発行体格付
格付の見直し

A-
安定的 → ポジティブ

■ 格付事由

- 紳士服専門店チェーン第2位の「AOKI」（ファッション事業）などを傘下に持つ純粋持株会社。ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を運営するアニヴェルセル・ブライダル事業、複合カフェ、カラオケルーム、24時間セルフ型フィットネスジムを営むエンターテイメント事業でも業界上位に位置している。また、22年には複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」を展開するランシステムを子会社化した。当社と事業会社との一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 業績は21/3期に底を打ち、回復基調にある。行動制限の緩和により各事業の需要が回復していることに加え、グループ店舗の遊休スペース活用などの経費コントロールにより収益体質が強化されてきている。また、エンターテイメント事業の利益貢献度が高まっており、業績の安定感が増している。良好な財務構成は維持可能と想定される。以上を踏まえ、格付は据え置きものの、見直しをポジティブに変更した。今後は利益回復の持続性を見定め、格付に反映させていく。
- ファッション事業では原材料高や円安による仕入原価の上昇がみられるものの、適正価格での販売により収益性を維持している。今後はパジャマスーツをはじめとしたカジュアル化の取り組みに注目していく。アニヴェルセル・ブライダル事業は施設数の減少もあり、コロナ禍前の業績回復は想定しづらい。しかし、施行組数や一組単価の上昇により底堅い業績推移が見込まれる。エンターテイメント事業は業態の多様化、店舗数の増加により過去最高の営業利益水準にある。ビジネス・学習用途向けサービス・コンテンツ等の拡大、AOKIの店舗等でのインドアゴルフの導入などに取り組む方針であり、これらの施策によって顧客層を広げ、収益力の強化が更に進むか確認していく。
- 24/3期の営業利益は108億円（前期比5.5%増）の計画。24/3期第1四半期の営業利益は22億円（前年同期比47.3%増）と大幅増益となった。ファッション事業、エンターテイメント事業ではコロナ禍前の19/3期第1四半期を大幅に上回る利益を確保している。24/3期第1四半期末の自己資本比率は58.3%と良好な水準にある。大型な設備投資は予定されておらず、今後の設備投資額は営業キャッシュフローの範囲内に収まる見直しである。

（担当）千種 裕之・三浦 麻理子

■ 格付対象

発行体：株式会社 AOKI ホールディングス

【見直し変更】

対象	格付	見直し
長期発行体格付	A-	ポジティブ

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年10月23日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：千種 裕之
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「小売」（2020年5月29日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社 AOKI ホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル